

第1回 可児市都市計画審議会議事録

1. 開会日 平成28年4月21日(木曜日) 開会時間：午後2時00分
閉会時間：午後3時35分
2. 開会場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 出席委員 都市計画審議会 会長 和泉 潤
都市計画審議会 会長職務代理者 伊藤 栄一
都市計画審議会 委員 昇 秀樹
林 則夫
勝野 正規
渡辺 仁美
田原 理香
船坂 徳彦
伊藤 峰由
加藤 幸治
長谷川 彰
森 夕貴
山本 学
4. 事務局 建設部長 三好 英隆
都市計画課長 田上 元一
都市計画課 都市政策係長 溝口 英人
都市計画課 都市政策係 渡邊 真史
5. 議 事 協議第1号 土岐都市計画用途指定(商業地域)に係る広域調整について
協議第2号 都市計画マスタープラン全体構想(案)について
6. その他

<p>7. 会議内容</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>全員</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>和泉会長</p> <p>都市政策係長 溝口</p>	<p>以下のとおり</p> <p>開会を宣言し、あいさつまで、司会を行った。 奥村委員、可児委員は欠席、昇委員は遅刻であることを報告した。 議事録の作成について、各委員の名前を明記することを諮った。</p> <p>異議なし。</p> <p>今回は諮問事項がないため、署名人の指名は行わない。</p> <p>議事に従い、事務局に協議第1号の説明を求めた。</p> <p>土岐都市計画用途指定について、資料1に基づき説明を行った。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px; display: inline-block;">質 疑 応 答</div>	
<p>和泉会長</p> <p>田原委員</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>渡辺委員</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>和泉会長</p>	<p>質問や意見はあるか。</p> <p>土岐市が県ガイドラインについて問題なしと言っており、市としてもそのことについて概ね同意しているとのことだが、大型商業施設が開店した際に、想定とは違い道路の渋滞等が起こったらどのような対応をするのか。</p> <p>開店後のことについては、経済部局等が管轄する大店法等のそれに関する法規制によるところであり、このことについては再び当審議会でもう一度判断するようなことはない。</p> <p>交通の問題を懸念している。土、日曜日の東から西向きの国道19号はいつも混雑している。可児市とは関係なく当審議会から出す意見ではないかも知れないが、渋滞の問題のことについては開店前から考えてもらいたい。</p> <p>おっしゃる通り道路渋滞については、多治見市と土岐市がメインになる。国道19号線は国の管理になり、そちらから意見として県に入っていると推察している。</p> <p>今回の意見を付記という形でも良いから県に上げて欲しいとい</p>

<p>渡辺委員</p> <p>和泉会長</p> <p>長谷川委員</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>田原委員</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>和泉会長</p> <p>都市計画課長 田上</p> <p>都市計画課 渡邊</p>	<p>うことか。</p> <p>その判断は事務局に一任する。</p> <p>交通渋滞に関して議論があったということは書き添えてもらったほうが良いかも知れない。</p> <p>土岐市に大型店舗ができると、そちらにお客が流れることになる。そうすると可児市の方が経済的に萎んでしまうので、可児市の都市計画の見直し等で何らかの手を打っていかないといけない。</p> <p>このことについては、次の協議第2号で若干お示しできる。</p> <p>土岐市に大型店舗ができれば、県外からの来客が期待できるため、可児市もインターチェンジ付近にある花フェスタ等で誘客を図ると良い。</p> <p>参考にさせていただく。</p> <p>他に意見がないため、続いて協議第2号について事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>第二次都市計画マスタープランの策定について、これまでの経緯を説明した。</p> <p>資料2、資料2（別紙）に基づき説明を行った。</p>
<p>勝野委員</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">質 疑 応 答</p> <p>市が掲げる住みごこち一番を実現し、人口減少に歯止めをかけるためにも、新たな土地利用の推進や検討について進めてもらいたい。</p> <p>23頁の土地利用方針図であるが、都市的土地利用推進地として春里の矢戸川沿いの地域が入っている。それについて位置づけ等を聞かせていただきたい。</p> <p>また、資料2別紙について、地元説明会が6地区で開催予定とあるが、6地区のイメージはどうか。</p>

都市計画課 溝口	<p>昨年度、市内の住みやすい土地、言わば開発ポテンシャルのある土地を市内で検討を進めてきた。その中で、インターチェンジや幹線道路、鉄道駅、学校からの距離等から各地域を点数化し、評価を行った。その結果として、ご質問の地域については学校や駅も比較的近いとため、将来的に可能性のある地域としてこのような結果になっている。</p>
勝野委員	<p>推進地に指定されると農振農用地の規制緩和等、農地の転用が容易になると解釈してよいのか。</p>
都市計画課長 田上	<p>昨年度の検討については、まずは現況を度外視して進めてきた。規制については都市側の規制ではない部分が多いが、都市側として推進地と打ち出した以上、農側のそういった規制を若干なりとも緩和の方向へ持っていくよう調整をしていきたい。</p> <p>2つ目のご質問については、6地区だけに絞って行うという意味ではなく、6箇所でやって全域をカバーする。</p>
加藤委員	<p>人口が減少していく中で、市全域としては2割くらい減少するとなっているが40年以上経った団地は空き家が増えてきているため、地域毎に空き家の戸数や人口の流出等のデータを押さえ、都市マスの中で活かしていかないと今後大変なことになる。</p> <p>都市マスに入るか分からないが、防災の点で災害になったとき、どこがメインの道路になるのかとか地域のどこにこういった道路が確保できて安全なのかということ、市民の方へ知らせるためにもある程度しっかりやってもらいたい。</p>
都市計画課長 田上	<p>地域毎の人口動態はバックデータとして必要であるため、例えば資料編という形で整理していきたいと考えている。</p> <p>緊急避難進路については市の地域防災計画の中で整理をしているが、都市マスとリンクしているかは再度検証する。</p>
田原委員	<p>若い世代が見たときに住みたいと思える、公園であるとか子育て拠点であるとか、もっと具体的に見えてくるような部分があっても良いと感じた。</p>
勝野委員	<p>そういったことは都市マスの上位計画である総合計画に記載されているため、個別な細かいところまでは必要ないと感じる。</p>

田原委員	<p>具体性がないと絵に描いた餅になってしまうことを懸念している。</p>
都市計画課長 田上	<p>8、9頁の都市づくりの目標の中の5番でそういった部分を表現した。田原委員の言われるようなもっと惹きつけるような表現になっていないことは、反省点である。</p>
和泉会長	<p>目標の1番も関係してくる。田原委員の意見を反映するのであれば、1、5番をもう少し変えてみるのも良いかも知れない。</p>
渡辺委員	<p>可児市の今ある形を最大限有効活用した上で、今後どうするかという形になっており、まとまっているという感想を持った。若い世代が魅力を感じるためには、整備がきちんとされていないとわざわざ他所から移り住んでくれない。その上でプラスして目標の5番が付加価値として生きてくるのだと思うが、今後より具体的な計画に落とし込んだときに、可児市の魅力を活かすことができるようになっているかという視点でこの全体構想を考えたい。</p>
和泉会長	<p>都市マスは基本的には土地の使い方を決め、具体的には都市計画の中でやっていく。そういったことと言えば、渡辺委員の大きな見方は良いと思う。</p> <p>1から4番までは大体どこの都市マスでも言っている。5番を入れたことで、可児市らしさが出ている都市マスになっていると思う。</p>
昇委員	<p>10頁の人口の話をもっとお話ししたい。合計特殊出生率2.07は恐らく達成不可能な数字であるため、それを念頭に置いておかないと不良資産を生み出すこととなる。</p>
和泉会長	<p>都市計画の立場から考えると、目標年次の人口フレームを考えねばならない。それに対してどういった都市計画という枠組みを作っていくかを考えていかないといけない。過大な人口数値であれば昇委員の言うとおりの不良資産が増えていくことになるため、見極めが非常に重要である。</p>
都市計画課 田上	<p>人口ビジョンの担当課に確認を取りながら、庁内全体に昇委員の話を提起したい。</p>

伊藤峰由委員	<p>目標の5番で可児市らしさを出し、差をつけるということであるが、若者に対しては響かないと思う。1から4番についても、便利さや子育ての観点があると、若者が惹きつけられるかなと思う。工業団地について、遠くからの誘致が必要になってくると思うので目標に入れてもらいたい。</p>
渡辺委員	<p>目標3番の優良農地の保全是可児市にとって非常に重要であると感じる。農地の確保は目標4番の災害対策にもつながるのではないかと感じるため、目標3番についても重点的に考えていただきたい。</p>
都市計画課長 田上	<p>農政部局も農地活用ビジョンの策定を進めているところであり、その中で農地の集約化を目指している。全てを都市的土地利用地として推進するというわけではなく、守るべき農地は守りながら推進していきたい。</p>
長谷川委員	<p>今の公共施設をこのまま運営していくと、いつか行き詰る。この全体構想を見ていると、新たな公共施設を作っていくように感じる。今ある施設を見直しながら、魅力あるまちづくりを目指すことはできると思う。計画としては、このような形しかないのかなと思うが、実際事業を進める場合は、最高を見るのではなく最低を見ながら進めても、いいのではないかなと思う。</p>
都市計画課長 田上	<p>おっしゃる通りで、公共施設だけではなく、空き地、空き家なども含めた既存部分をどう整理していくのが重要であり、民間が行う事業についても、都市計画の土地利用の部分で誘導しているのではないかと考えている。</p>
勝野委員	<p>今後地域別構想を策定していくが、各地域の特徴を活かしてもらえるとありがたい。その上で、全体構想の修正の必要も出てくるかと思う。</p>
都市計画課長 田上	<p>地域別構想の策定を進めている中で、全体構想を見直す必要が生じることもある。状況を見ながら、都市計画審議会で議論いただく場を設けることもある。</p>
田原委員	<p>交通ネットワークについては、現況まだまだ足りていないが更に強化すると書いてあるように、全体的に目標が高く掲げられて</p>

和泉会長	<p>いる。果たして実現できるのか。庁内でこの計画を共有することが重要であって、事あるごとに意識の共有を図ることで実現に向かって欲しい。</p> <p>庁内の横のつながりを強化して都市計画の実現に結びつけるという、非常に重要な意見である。</p>
山本委員	<p>まずはすごい計画だと感心している。</p> <p>人口は今後、集約されていく。この辺りでは名古屋になることは間違いないが、サブの地域としては可児になるのか、美濃加茂になるのか、多治見になるのか。近隣の流れをよく理解し、広域的な視点を持って戦略を立てると面白い。</p>
都市計画課長 田上	<p>国勢調査では、平成 22 年から平成 27 年で可児市も美濃加茂市も人口が増えている。今後は近隣との関係性も見ながら、人口が増えた要因等を分析していきたいと考えている。</p>
林委員	<p>以前より市民が親しみを持てるよう、道路、河川、施設については愛称で呼ぶようにしたらどうかと申し上げている。その点で 26 頁の道路の名称は分かりやすく評価する。</p> <p>土岐可児線について、安土桃山街道にしたらどうかと思う。</p>
船坂委員	<p>こちらから命名しても、なかなか定着しない。地元からそう呼ばれ、すでに定着しているものを命名する流れが良いかと思う。</p>
和泉会長	<p>地名は非常に重要で、それをどう活かすかは課題となると思う。昔から地元で使われている名前や地名を上手に使っていくと、若者も興味を持つ可能性が出てくるかもしれない。</p>
森委員	<p>この計画の方針等について、特に問題となる点はないと思う。</p>
伊藤栄一委員	<p>一部、日本語として気になる部分があるため、吟味していただきたい。</p> <p>都市マスの中で議論する話ではないかもしれないが、8、9 頁の目標 3、4、5 の都市の在り方のような位置づけについて、例えば農業をどう位置づけるのか、自然とはどういったものなのかをもう少し掘り下げても良いかもしれない。農地や自然環境について、従来の都市計画で考えている都市機能だけでなく、総合的</p>

<p>和泉会長</p>	<p>な戦略の中に、こういったものをどう位置づけるのか重要になる。</p> <p>自然環境の点から言うと、もう少し広い視点で地球環境に対し 可児市はどう取り組んでいくのか戦略目標を外に向かって打ち出 していくことが、人を惹きつける上でも大事になってくるのでは ないか。</p> <p>非常に大切な意見であり、今、農あるまちづくりという考え方 が出てきている。都市と農村は一体となって一つの地域として作 っていくという考えであり、可児市はそれにふさわしい地域の 一つであると考えている。土地の使い方もそういったことをしっか り押さえることが大事であるし、都市マスに伊藤委員の意見が見 えるような形にすると、良いものが出来上がるかと思う。</p>
<p>林委員</p>	<p>可児市は地震に強い地盤であるため、それを売りにすることも できる。</p>
<p>和泉会長</p>	<p>農業も都市計画では非常に重要であるため、それを念頭に置い てもらいたい。</p> <p>それでは、時間の関係もあり、協議は終了とする。</p>
<p>そ の 他</p>	
<p>建設部長 三好</p>	<p>閉会を宣言した。</p>